

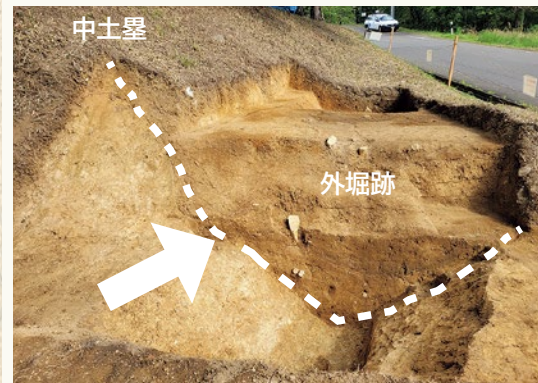
国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】
【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】



Vol.110

阿津賀志山防塁 第28次調査 森山での発掘調査を実施！



埋まっていた840年前の堀跡から当時の形状が明瞭に分かります！

国見町では文治5年(1189年)奥州合戦で平泉藤原氏が築いた「阿津賀志山防塁」について、平成20年度(2008年)から史跡保存のための調査を継続的に取り組んでいます。

今回の第28次調査は、東国見・西国見地区(森山)で6月から開始し、外堀の発見と、中土塁の断面から情報を得ました。

外堀は堀底から土塁頂部まで高低差が4.5mを測り、中土塁には多くの石が含まれている事も新たに分かりました。

発掘は、840年前の当時の様子を知ることのできる貴重な機会です。源頼朝と平泉藤原氏が対峙した激動の時代を教えてください。



石を含む土を盛った土塁の構造が確認できます。



県北中2年生の職場体験で発掘に挑戦してくれました。

あつかし歴史館×大木戸歴史むらづくりの会「七夕まつり」を開催しました！



7月11日(土)あつかし歴史館にて「七夕まつり」を開催し、130名を超える親子などが参加しました。館内では、七夕の短冊作りやクリアカップを利用した風鈴作りのワークショップを行い、短冊にそれぞれの願いを込めながら作品を作りあげていました。天気にも恵まれ、外ではシャボン玉や水鉄砲を片手に走り回る子どもたちの姿も見られました。

また、大木戸歴史むらづくりの会による、流しそうめんやかき氷も大盛況で、大人も子どもも楽しみながら七夕に思いをはせる機会になりました。



— Activity Report —

Vol. 64

地域おこし協力隊活動日記

初めまして、4月から地域おこし協力隊として活動している齋藤咲です。「とこと」という屋号で、身近な食材を使った薬膳の提案をしています。

前職の保育士の経験も活かし、「毎日のごはんで、心も体も心地よく」をモットーに国見町の食材を使って、子ども向けの食を楽しむワークショップや大人向けのやさしい薬膳講座なども開いていく予定です。最近、国見小学校3年生の授業のお手伝いもしています。



さいとう さき
齋藤 咲



親子で参加できる梅のクラフトシロップワークショップを開催しました。好きな香りのスパイスを選んで、みんなで季節の手仕事を楽しむとても穏やかな時間でした。



クニミノマドさんの桃の袋掛け体験でのおにぎり弁当。畑仕事の合間に、乾いた身体を潤し、元気をチャージしてくれる養生ごはんをお届けしました。

薬膳とは？

中医学の考えに基づき、季節や体質、体調に合わせて食材を組み合わせ、不調の予防や改善、健康維持を目指す食事法です。



なつめ(棗)

気血を補い、精神を安定させる効果があります。



クコの実

肝や腎を補い、目の疲れや美容にも良いとされています。



高麗人参

元気を補い、疲労回復や免疫力の向上に役立ちます。



しいたけ

気を補い、免疫力を高める食材です。

まだまだ知らないことがたくさんある国見町。これから四季折々の景色や、おいしい食材に出会えるのがとても楽しみです。

おすすめの場所や食べ物があれば、ぜひ教えてください！Instagramでは、毎日に寄り添うやさしい「養生」のコツも発信しています。

よかったら覗いてみてください。食を通じて、みなさんと一緒に健やかな毎日を育んで行けたら嬉しいです。これから、どうぞよろしくお願いします！

地域おこし協力隊 齋藤 咲



日々の活動や薬膳レシピ、ワークショップ情報などを発信しています！



ぜひフォローしてください！